

子どもたちを守る4つの緊急提言

立憲民主党

1. まず感染を防ぐ

子どもの感染拡大にも要注意。家庭内・施設内での感染を防ぐための対策を実施する。

- ・保育士、幼稚園教諭、教職員、学童指導員、部活動指導者等へのワクチン優先接種
- ・12歳以上の希望する受験生等へのワクチン優先接種
- ・感染拡大地域における子どもたちを含めた定期的なPCR検査
※プライバシー保護やいじめ、心身への負担軽減等に配慮
- ・家庭内における感染防止策の普及に努める
- ・子どもに発熱があった場合の対応を明確化
- ・少なくとも中等症以上の子どもも入院して治療を受けられる体制を整備

2. 日常の居場所を守る

常に子どもたちの居場所を確保し、心身の健康を保つため、以下の対策を実施する。

- ・休校時は、学校で午前預かりと給食を実施。学童保育は午後預りを行いつつ、終日化も検討
- ・図書館・公民館、学校の図書室の学習場所など、在宅学習が難しい小中高生等のための居場所の確保
- ・子どもからの心身のSOSを聞き取り、学内外による支援につなげる
- ・感染不安等による登校見合せの場合の出席扱い化
- ・保育所、幼稚園等の欠席基準の明確化、病児保育の受け入れ体制を強化

3. 学びを応援する

子どもたちの集団での生活や授業、課外活動も重要であり、以下の支援を実施する。

- ・学校や学童保育での感染防止教育の徹底と資機材の追加支援
- ・分散学習やリモート授業の実施のための学習指導員等を増員
- ・在宅リモート授業やハイブリッド型での授業のため、家庭内の通信環境確保を支援
- ・学校行事や課外活動におけるタブレット活用を柔軟化

4. 保護者を応援する

休校・休園等の際には、保護者への支援も必要であり、以下の対策を実施する。

- ・学校等休業助成金・支援金の給付。給付手続支援、受付体制の強化、給付の迅速化
- ・子どもの健康状態を園や学校と共有できるアプリ等の活用
- ・在宅勤務やテレワークの推進等
- ・保護者からの電話・SNS相談窓口の設置